

令和4年度 社会科 3年公民 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

< 2 > 公民的分野の目標

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

社会科 3 学年 公民分野 年間指導計画・評価計画

【評価の観点】知識・技能＝知技, 思考・判断・表現＝思判表, 主体的に学習に取り組む態度＝態度

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	1 持続可能な社会に向けて 持続可能な社会とは 持続可能な社会の実現に向けて 私たちが創る社会	● 持続可能性とはどのような考えに基づいているか理解する。 ● 持続可能な社会の実現に必要な態度について, 社会参画と関連付けて考察し, 表現する。	● 持続可能性とはどのようなことを意味しているか, 文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 持続可能な社会の実現に必要な態度とはどのようなものか, 社会参画と関連付けて考察し, 表現している。(思判表)
	2 グローバル化 結び付きを深める世界 グローバル化とは 国際競争と国際分業 グローバル社会と日本	● グローバル化とは生活や社会のどのような変化か, 具体的な事例を通して理解する。 ● グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や, 課題について考察する。	● グローバル化とは生活や社会のどのような変化か, 本文の読み取りを通して理解している。(知技) ● グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や, 課題について考察し, 表現している。(思判表)
	3 少子高齢化 変わる人口構成と家族 少子高齢化とは 多様化する家族の形 少子高齢化の課題	● 人口ピラミッドなどの統計資料を基に, 日本における少子高齢化の進行と, その原因について理解する。 ● 少子高齢化の進行や家族の多様化に伴う課題, 解決に向けた取り組みについて, 自分の考えを表現する。	● 少子化の原因として考えられることを文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 身近な地域での少子高齢化への対応を調べる活動を基に, 高齢者支援と子育て支援について考察し, 表現している。(思判表)
	4 情報化 情報が変わる社会の仕組み 情報化とは 情報化による社会の変化 情報化の課題	● 情報化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点について理解する。 ● 情報化の進展による課題を挙げ, 私たちが解決のためにできることについて考察し, 表現する。	● 情報化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点について理解している。(知技) ● 情報化の進展による課題を挙げ, 私たちが解決のためにできることについて考察し, 表現している。(思判表)
	1 私たちの生活と文化の役割 文化とは 科学・宗教・芸術の役割 文化の役割と課題	● 文化の具体的な内容について理解する。 ● 科学・宗教・芸術を中心に, 文化の役割について考察する。	● 文化の具体的な内容を, 科学, 宗教, 芸術の分野を例に挙げ, 理解している。(知技) ● 科学, 宗教, 芸術の分野を例に文化の果たす役割について考察し, 表現している。(思判表)
	2 伝統文化と新たな文化の創造 伝統文化とは 日本の多様な伝統文化 伝統文化の継承の課題	● 日本の伝統文化の具体的な内容や私たちの生活への影響について理解する。 ● 日本文化の地域的多様性や, 伝統文化の継承と保存について考察する。	● 身近な地域に見られる文化の具体的な内容について理解している。(知技) ● 伝統文化を継承し, 保持するために私たちにできることは何かを考察し, 表現している。(思判表)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	3 多文化共生を目指して 世界に広がる日本文化 日本の中の国際的な文化 多文化共生の実現のために	● 多文化共生とはどのようなことを意味しているか理解する。 ● 多文化共生の社会を築くために、私たちに求められていることについて考察する。	● 多文化共生とはどのようなことを意味しているか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 多文化共生の社会を築くために、私たちにできる具体的な取り組みについて考察している。(思判表)
	1 社会集団の中で生きる私たち 社会集団とは 社会的存在としての人間 対立と合意	● 自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解する。 ● 事例を基に、社会集団における対立の存在と合意への努力について考察する。	● 自分が家族や地域社会などの複数の社会集団に所属していることや、人間が社会的存在であることを理解している。(知技) ● 社会集団における対立の存在に気付くとともに、合意を目指すことが重要であることについて考察し、表現している。(思判表)
	2 決まりを作る目的と方法 さまざまな決まりと目的 権利と責任・義務 決まりを作るさまざまな方法	● 物事の決定の仕方や決まりの意義について理解する。 ● 事例を参考に、物事の決定の仕方や決まりの意義について社会集団と関連付けて考察し、表現する。	● 物事の決定の仕方や決まりの意義について文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 決まりが必要な理由について対立と合意に着目し、社会集団と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	3 効率と公正 全員が納得するために 効率とは 公正とは	● 合意を得るためには効率と公正の考え方が重要であり、その考え方を理解する。 ● 事例について、対立と合意、効率と公正に着目して、考察する。	● 効率と公正の意味とその重要性について文の読み取りを通して理解している。(知技) ● みんなが納得できる解決策の在り方について、対立と合意、効率と公正に着目して考察し、表現している。(思判表)
	4 決まりの評価と見直し 決まりは変更できる 決まりを評価する観点 共生社会を目指して	● 必要に応じて決まりを見直すことの重要性を理解する。 ● 決まりを見直す際の見直し方について対立と合意、効率と公正に着目して考察する。	● 必要に応じて決まりを見直す意義について、身の回りでルールが変わった例を通して理解している。(知技) ● ルールを見直す際の見直し方について対立と合意、効率と公正に着目して考察している。(思判表)
	1 人権の歴史と憲法 人権の考え方 人権思想の発展と広がり 憲法と立憲主義の意義	● 人の支配と法の支配の違いについて、資料などを通して両者の比較から理解する。 ● 人権と憲法にはどのような関係があるかについて、人権思想と憲法の歴史と関連させて考察する。	● 人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ、人権と憲法の関係から法の支配について理解している。(知技) ● 立憲主義が重要な理由を、人の支配と法の支配の違いや憲法の役割に着目して、適切に表現している。(思判表)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	2 日本国憲法とは 大日本帝国憲法 日本国憲法の制定とその基本原理 日本国憲法が定める政治の仕組み	● 大日本帝国憲法と日本国憲法の比較を通して、日本国憲法の三つの基本原理を理解する。 ● 日本国憲法はどのような考え方に基づいて作られているかについて、大日本帝国憲法との比較から適切に表現する。	● 日本国憲法の三つの基本原理について、本文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 日本国憲法の仕組みの特色を、大日本帝国憲法との違いに着目して適切に表現している。(思判表)
	3 国民主権と私たちの責任 国民主権と政治参加 憲法改正 「象徴」としての天皇	● 国民主権の意味について、選挙、憲法改正の国民投票、象徴としての天皇などの事例を通して理解する。 ● なぜ国民主権は大切なのかについて、法の支配に着目して適切に表現する。	● 国民主権とは、どのようなことを意味しているか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国民主権が重要な理由を、学習した内容を活用し、法の支配に着目して適切に表現している。(思判表)
	4 平和主義の意義と日本の役割 平和主義と憲法第9条 日米安全保障条約と集団的自衛権 自衛隊の国際貢献 被爆国日本の役割	● 日本が掲げる平和主義について、歴史的分野の学習内容や自衛隊の活動などを踏まえて具体的な事例を通して理解する。 ● 平和主義を掲げる日本は国際社会でどのような役割を果たしていくべきか、資料に示された具体的な事例を挙げながら、適切に表現する。	● 日本が平和主義を掲げる理由について文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国際平和のために日本が果たす役割について、自衛隊の活動や、被爆国としての日本の立場を踏まえて、適切に表現している。(思判表)
	1 平等権① 共生社会を目指して 平等に生きる権利 部落差別の撤廃 アイヌ民族への差別の撤廃 在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃	● 日本にはどのような差別があるかを部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人への差別など具体的な事例を通して理解する。 ● 差別をなくすためにどのような努力がなされてきたか、個人の尊重の観点から適切に表現する。	● 現在も日本に残っている差別の例を文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 差別をなくすために重要なことを、個人の尊重の観点から考察し、表現している。(思判表)
	2 平等権② 共生社会を目指して 男女平等を目指して 性の多様性への理解 障がいのある人への理解 在日外国人への理解	● 共生社会を築いていくために、インクルージョンの考察など対話的な活動を通して様々な立場の人がいることを理解する。 ● 共生社会を築いていくために、私たちにはどのような取り組みや努力が求められているか、インクルージョンの実現と関連付けて考察し、表現する。	● インクルージョンの実現とはどのようなことを意味しているか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 共生社会の実現のために必要なことを平等権の学習全体を通して考察し、表現している。(思判表)
	3 自由権 自由に生きる権利	● 自由権とはどのような権利であるか、	● 自由権にはどのような種類があるか、文

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	憲法が保障する自由とは 精神の自由 身体の自由 経済活動の自由	資料から様々な自由があることを体系的に理解する。 ● 自由権は日本国憲法でどのように保障されているか、対話的な活動を通して個人の尊重の観点から考察し、表現する。	の読み取りを通して理解している。(知技) ● 自由権が保障されることが重要な理由を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。(思判表)
	4 社会権 豊かに生きる権利 人間らしい生活を営む権利 生存権 教育を受ける権利 勤労の権利と労働基本権	● 社会権とはどのような権利であるか、資料から様々な権利があることを体系的に理解する。 ● 社会権が日本国憲法でどのように保障されているか、生存権に関する対話的な活動などを通して自由権(経済活動の自由)との関係から考察し、表現する。	● 社会権にはどのような種類があるか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 社会権が保障された理由を、自由権(経済活動の自由)との関係から考察し、表現している。(思判表)
	5 人権を確実に保障するための権利 参政権 裁判を受ける権利 その他の請求権	● 私たちの人権保障を確かなものにするために、日本国憲法では具体的にどのような権利が保障されているか、資料の読み取りを通して理解する。 ● 私たちの人権保障を確かなものにするために、参政権や請求権が日本国憲法で保障されている理由について資料の事例を通して考察し、表現する。	● 参政権や請求権にはどのような種類があるか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 参政権や請求権が人権の保障にとって重要な理由を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。(思判表)
	6 「公共の福祉」と国民の義務 「公共の福祉」とは 人権の制限が許される場合 国民の義務	● 自由や権利の限界、制限されている例を文や資料の読み取りを通して理解する。 ● 国民の義務と日本国憲法の関係について考察する。	● 自由や権利の限界、制限されている例を文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国民の義務と日本国憲法の関係について考察している。(思判表)
	1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権 社会の変化と「新しい人権」 環境権 科学技術の発展と人権 自己決定権	● 産業や科学技術の発展に伴う具体的な課題を資料から読み取り、認められてきた権利との関係を理解する。 ● 産業や科学技術の発展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現する。	● 環境権や自己決定権など「新しい人権」が認められてきた理由について、理解している。(知技) ● 新しい人権がどのような対立を解消するためのものか、その関係について、適切に表現している。(思判表)
	2 新しい人権② 情報化の進展と人権	● 情報化の進展に伴う具体的な課題を資料から読み取り、認められてき	● 情報化の進展に伴う具体的な課題と認められてきた権利の関係について、理解し

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	知る権利 プライバシーの権利 インターネットと人権	た権利との関係を理解する。 ● 情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現する。	ている。(知技) ● インターネットの発達など、情報化の進展に伴ってどのような課題が生まれどのような権利が認められてきたのか、適切に表現している。(思判表)
	3 グローバル社会と人権 発展途上国の社会的弱者 人権保障の国際的な広がり グローバル社会における人権保障	● 国際社会にはどのような人権上の課題があるか理解する。 ● 人権上の課題の解決に向けてどのような取り組みがなされてきたか考察し、表現する。	● 人権保障のために様々な条約があることを理解している。(知技) ● 人権上の課題の解決に取り組む組織と、になっている役割について考察している。(思判表)
	1 政治と民主主義 政治とは 民主主義とは 多数決と少数意見の尊重	● 民主主義がどのような考え方であるか理解する。 ● 民主主義で物事を決める際に必要とされることや、私たちに求められていることについて考察し、適切に表現する。	● 民主政治における物事の決定の仕組みについて理解している。(知技) ● 民主主義で物事を決める際に必要とされることや、私たちに求められていることについて考察し、適切に表現している。(思判表)
	2 選挙の意義と仕組み 政治参加としての選挙 選挙の基本原則 日本の選挙制度	● 選挙がなぜ大切であるかについて理解する。 ● 選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現する。	● 現在の日本で行われている選挙の基本原則について、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 選挙が果たしている役割について、民主主義に着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 政党の役割 政党の働き 政党政治 日本の政党政治	● 政党の果たす役割について理解する。 ● 国民と政党の関係について、民主主義に着目して考察し、表現する。	● 日本で行われている政党政治の特徴を、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国民と政党の関係について、民主主義に着目して考察し、表現している。(思判表)
	4 マスメディアと世論 世論とマスメディア メディアリテラシー 公正な世論を形成するために	● マスメディアの役割と政治に与える影響について理解する。 ● 私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現する。	● 世論とは、どのようなことを意味しているか、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現している。(思判表)
	5 選挙の課題と私たちの政治参加 棄権の増加	● 私たちができる政治参加の方法を理解する。 ● 選挙の投票率を上げるにはどうしたらよ	● 私たちができる政治参加の方法を理解している。(知技) ● 選挙の投票率を上げるにはどうしたらよ

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	一票の格差 私たちの政治参加	らよいか、政治参加に着目して考察し、表現する。	いか、政治参加に着目して考察し、表現している。(思判表)
	選挙の流れ	● 実際の選挙がどのように行われているのか、資料を通して一連の流れを理解する。 ● 具体的な選挙の手続きを調べることを通して、主体的に政治に参加しようとする。	● 実際の選挙がどのように行われているのか、資料を通して一連の流れを理解している。(知技) ● 具体的な選挙の手続きを調べることを通して、主体的に政治に参加しようとしている。(態度)
	1 国会の地位と仕組み 国会の地位 国会議員の地位 二院制 国会の種類	● 国会の地位と仕組みについて理解する。 ● 国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現する。	● 衆議院と参議院の違いについて、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現している。(思判表)
	2 法律や予算ができるまで 法律・予算とは 委員会と本会議 衆議院の優越	● 国会の主な仕事について、理解する。 ● 「衆議院の優越」が定められている理由について、効率と公正に着目して考察し、表現する。	● 国会の主な仕事について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 「衆議院の優越」が定められている理由について、効率と公正に着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 行政を監視する国会 内閣総理大臣の指名 条約の承認 国政調査権 その他の国会の仕事	● 国会と行政との関係について理解する。 ● 私たちと国会との関係について、考察し、表現する。	● 国会が行政権との関係の中で担っている役割について文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 私たちと国会との関係について、考察し、表現している。(思判表)
	4 行政の仕組みと内閣 行政の役割と仕組み 内閣の仕事と組織 議院内閣制	● 内閣の役割と仕組みについて理解する。 ● 日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現する。	● 内閣の主な仕事について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現している。(思判表)
	5 行政の役割と行政改革 行政を担当する公務員と財政 行政権の拡大 行政改革	● 行政における内閣の役割について理解する。 ● 行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現する。	● 公務員が「全体の奉仕者」と呼ばれる理由について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現している。(思判表)
	6 裁判所の仕組みと働き	● 私たちの生活における裁判の役割について理解する。	● 裁判所の種類と、それぞれが行っている裁判について文や資料の読み取りを通し

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	法に基づく裁判 裁判所の種類 司法権の独立	● 司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現する。	て理解している。(知技) ● 司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。(思判表)
	7 裁判の種類と人権 民事裁判 刑事裁判 裁判と人権保障	● 裁判はどのような仕組みがあるかについて理解する。 ● 裁判によって守られている人権について考察し、表現する。	● 裁判において、被疑者以外に裁判に出席する人と、それぞれの役割について、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 裁判によって守られている人権について、学習を振り返りながら考察し、表現している。(思判表)
	8 裁判員制度と司法制度改革 司法制度改革 裁判員制度 取り調べの可視化と被害者参加制度	● 裁判がより身近で公正なものになるための取り組みについて理解する。 ● 裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現する。	● 裁判員が、裁判官とともに担当する役割を、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。(思判表)
	9 三権の抑制と均衡 三権分立 三権の関係と国民 違憲審査制	● 日本の三権相互の関係について理解する。 ● 三権分立が採られている理由について考察する。	● 三権がたがいに抑制し合っている内容について文や資料の読み取りから理解している。(知技) ● 三権分立が採られている理由について、人権の観点から考察している。(思判表)
	1 私たちの生活と地方自治 地方自治とは 国と地方公共団体の役割 地方分権	● 地方公共団体の役割について理解する。 ● 地方自治がどのような考えに基づいているか、地方自治の原則に着目して考察する。	● 地方公共団体の役割について理解している。(知技) ● 地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について、地方自治の原則に着目して考察し、表現している。(思判表)
	2 地方自治の仕組み 地方議会 首長 直接請求権	● 地方自治の仕組みについて理解する。 ● 地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現する。	● 地方議会や首長が果たしている役割について、文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 地方公共団体の課題 地方財政の仕組み 地方財政の健全化	● 地方公共団体にはどのような課題があるかについて理解する。 ● 自分が住む地方公共団体の課題を調べ、解決のために自分にできること	● 地方公共団体の財政を支える収入について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 自分が住む地方公共団体の課題を調

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	人口減少と地方創生	とを考察, 構想し, 表現する。	べ, 解決のために自分にできることを考察, 構想し, 表現している。(思判表)
	4 住民参加の拡大と私たち 住民の声を生かす 住民運動の広がり 地域の課題と私たち	● 住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解する。 ● 住民の声を生かした政治を実現するために, どのような取り組みがなされるべきか考察する。	● 住民が地方公共団体の政治に参加する方法について理解している。(知技) ● 住民参加が重要な理由について, 民主主義の観点から考察している。(思判表)
	1 私たちの消費生活 私たちの消費生活と経済 家計の収入と支出 商品の選択とより良い消費生活	● 私たちの消費生活と経済との関わりについて理解する。 ● より良い消費生活を送るために必要なことについて考察, 表現する。	● 私たちが日常生活の中でしている消費活動について理解している。(知技) ● より良い消費生活を送るために必要なことについて考察, 表現している。(思判表)
	2 契約と消費生活 消費者主権 契約と消費生活 消費者問題の発生	● 消費者にとって契約とは何かを理解する。 ● 契約を結ぶ際に注意すべき点について, 自由や義務に着目して考察し, 表現する。	● 消費者主権とはどのようなことを意味しているか, 文の読み取りを通して, 理解している。(知技) ● 契約を結ぶ際に注意すべき点について, 自由や義務に着目して考察し, 表現している。(思判表)
	3 消費者の権利を守るために 消費者の権利 日本の消費者問題への対応 自立した消費者	● 消費者に保障されている権利や果たすべき責任について理解する。 ● 自立した消費者であるためにはどうすべきか考察し, 表現する。	● 消費者の権利を守るための制度や法律について, 文の読み取りを通して理解している。(知技) ● 自立した消費者であるためにはどうすべきか, 判断や責任に着目して考察し, 表現している。(思判表)
	契約について	● 身近な消費生活にある契約の事例を基に, より良い消費者の在り方を考察する。 ● 様々な契約の事例や決済方法を知ることを通して, より良い消費生活を目指す意識を持つ。	● 身近な消費生活にある契約の事例を基に, 消費者の在り方を多面的・多角的に考察している。(思判表) ● 消費者の一人として, 契約の注意点に関心を持ち, より良い消費生活に向けて主体的に関わろうとしている。(態度)
	4 消費生活を支える流通 商品が消費者に届くまで 商業の役割 流通の合理化	● 商品がどのように消費者の元に届くか, 仕組みについて理解する。 ● 流通の合理化がもたらす影響について考察する。	● 身近な地域にある, 流通に関連した仕事について理解している。(知技) ● 流通の合理化がもたらす影響について考察している。(思判表)
	1 生産活動と企業	● 私たちの生活に必要なものはどのように生産されているか理解する。	● 私たちが日常生活の中で消費している財やサービスについて調べ, まとめている。

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	分業と交換 企業の生産活動と資本主義経済 技術革新と知的資源	● 身近にある財やサービスの生産における分業と交換の良い点を、効率の観点から考察し、表現する。	(知技) ● 身近にある財やサービスの生産における分業と交換の良い点を、効率の観点から考察し、表現している。(思判表)
	2 企業の種類 私企業と公企業 大企業と中小企業 起業とベンチャー企業 企業の社会的責任	● 企業にはどのような種類があるかについて理解する。 ● 自分が起業するとしたら、どのような企業を創るか、企業の社会的責任に着目して、具体的な事例を基に考察し、表現する。	● 情報を適切に収集・選択し、読み取る学習を通して、身近な地域にある様々な企業について調べ、まとめている。(知技) ● 起業する場合どのような企業を創るのが良いか、企業の社会的責任に着目して考察し、表現している。(思判表)
	3 株式会社の仕組み 株式とは 株式会社の仕組み 株価の変動	● 株式会社の仕組みについて理解する。 ● 株主の権利や責任について、配当や投資と関連付けて、考察し、表現する。	● 株式とはどのようなものか理解している。(知技) ● 株主の権利や責任について、配当や投資と関連付けて考察し、表現している。(思判表)
	4 労働の意義と労働者の権利 労働の意義 労働者の権利 ワーク・ライフ・バランスの実現	● 労働者の権利を守るための取り組みについて理解する。 ● 多様な働き方が求められている背景を、個人の尊重の観点から考察し、表現する。	● 労働者の権利について文から読み取る学習を通して理解している。(知技) ● 多様な働き方が求められている背景を、個人の尊重の観点から考察し、表現している。(思判表)
	5 労働環境の変化と課題 多様化する労働の在り方 非正規労働者の増加への対応 外国人労働者 いきいき働ける社会の実現	● 労働をめぐる環境の違いについて理解する。 ● 労働環境の変化と課題について考察し、表現する。	● 正規労働者と非正規労働者の違いについて理解している。(知技) ● 労働環境の課題を解決し、いきいきと働ける社会の実現に向けて考察し、表現している。(思判表)
	1 市場経済と価格の決め方 市場経済とは 需要・供給と価格との関係	● 市場経済における価格の決定について理解する。 ● 希少性に着目して、それと価格との関係について、需要量と供給量を関連付けながら、表現する。	● 需要量と供給量とはどのようなことを意味しているかについて理解している。(知技) ● 希少性と価格との関係について、需要量と供給量を関連付けながら考察し、表現している。(思判表)
	2 価格の働き 市場経済における価格の働き 独占価格 公共料金	● 市場経済における価格の働きについて理解する。 ● 市場経済において価格が果たしている役割を、効率の観点から適切に表現する。	● 公共料金が定められている理由について、文から読み取る学習を通して、理解している。(知技) ● 市場経済において価格が果たしている役割を、効率に着目して考察し、表現して

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
			いる。(思判表)
	3 貨幣の役割と金融 貨幣の役割 お金の貸し借りと金融 金融の方法と働き	● 身近な事例を基に、貨幣の役割や金融の働きについて理解する。 ● 直接金融と間接金融の違いについて、株式や金融機関を関連付けながら、適切に表現する。	● 貨幣の役割や金融の働きについて、文から読み取る学習を通して、理解している。(知技) ● 直接金融と間接金融の違いについて、株式や金融機関を関連付けながら、表現している。(思判表)
	4 私たちの生活と金融機関 銀行の仕組みと働き 預金通貨 日本銀行の役割	● 私たちの生活で銀行が果たす役割について理解する。 ● 私たちの生活と銀行の関係について、銀行の役割に着目して、具体的な事例を基に多面的・多角的に考察し、表現する。	● 日常生活の中で使っている支払いの方法について、文から読み取る学習を通して、理解している。(知技) ● 私たちの生活と銀行の関係について、銀行の役割に着目して、具体的な事例を基に考察し、表現している。(思判表)
	5 景気と金融政策 景気とは 戦後の日本経済 日本銀行の金融政策	● 景気変動に対してどのような取り組みがなされているのかについて理解する。 ● 景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのかについて、日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し、表現する。	● 好景気や不景気がどのような状態か、文から読み取る学習を通して、理解している。(知技) ● 景気の変動に対して、どのような取り組みがなされているのかについて、日本銀行の金融政策と景気を関連付けながら考察し、表現している。(思判表)
	6 グローバル経済と金融 貿易と経済のグローバル化 為替相場 グローバル経済と金融	● 経済や金融のグローバル化について理解している。 ● 経済や金融のグローバル化が私たちの生活にどのような影響を与えているか考察する。	● 円高、円安とはどのような状態か理解している。(知技) ● 商品の価格が円高、円安によってどのように変動するか考察している。(思判表)
	1 私たちの生活と財政 財政の仕組み さまざまな税金 税金の公平性	● 私たちが納める税金の種類や仕組みについて、理解する。 ● 公正の観点から税金の負担について考察する。	● 私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している。(知技) ● 憲法で、国民に納税の義務がある理由について、税金の役割に着目して考察し、表現している。(思判表)
	2 財政の役割と課題 市場経済と政府 財政政策 公債の発行 これからの財政	● 身近な社会資本や公共サービスについて調べ、政府が果たしている経済的な役割と課題を理解する。 ● 政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や企業と関連付けながら考察し、表現する。	● 公共サービスは、どこがどのように提供しているか、文から読み取る学習を通して、理解している。(知技) ● 政府の財政政策と景気との関係について、公共投資や民間企業と関連付けながら考察し、表現している。(思判表)
	3 社会保障の仕組み	● 我が国の社会保障制度の仕組みについて理解する。	● 私たちが日常生活の中で利用している社会保障制度について理解している。(知

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	社会保障の役割とおこり 日本の社会保障の四つの柱	● 社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで、これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現する。	技) ● 社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度のあらましを理解したうえで、これからの社会保障制度について、持続可能性の観点から考察し、表現している。(思判表)
	4 少子高齢化と財政 少子高齢化と社会保障 社会保険の課題 福祉社会の実現に向けて	● 少子高齢化の財政への影響について理解している。 ● 少子高齢社会における社会保障制度の充実と経済成長の両立が難しい理由を、増税の影響に着目して考察し、表現する。	● 現役世代が納める保険料の負担が大きくなっている理由について理解している。(知技) ● 社会保障制度の充実と経済成長との両立が難しい理由を増税の影響に着目して考察している。(思判表)
	1 公害の防止と環境の保全 公害の発生 公害対策の進展 新たな公害と地球環境問題 循環型社会に向けて	● 環境保全と経済成長の両立のためになされている取り組みについて理解する。 ● 循環型社会を実現し、環境を保全するためにどうすべきか、持続可能性の観点から、自分事として考察し、表現する。	● 四大公害病の経緯や地球環境問題、それらを防止するための住民や国、地方公共団体、企業の取り組みについて、具体的な事例を通して理解している。(知技) ● 循環型社会を実現し、環境を保全するためにどうすべきか、持続可能性の観点から、自分事として考察し、表現している。(思判表)
	2 経済の持続可能性と真の豊かさ 経済成長と豊かさ 地域の持続可能な発展 住民が中心のまちづくり	● 経済的な豊かさの基準にどのようなものがあるか理解する。 ● 持続可能な社会を創るために、経済はどのような役割を果たすべきか、豊かさに着目して多面的・多角的に考察、構想し、議論する。	● 経済的な豊かさの基準にどのようなものがあるか理解している。(知技) ● これからの社会に必要な豊かさについて考察している。(思判表)
	1 国際社会における国家 国家とは 国旗と国歌 国際法の役割と国際協調	● 国際社会において国家がたがいに尊重し合うものについて理解する。 ● 国際法が国際社会の中で重要な理由について、協調に着目して考察する。	● 国家の三つの要素のうちの領域と主権がどのようなものか、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 国際法が国際社会の中で重要な理由について、協調に着目して考察している。(思判表)
	2 領土をめぐる問題の現状 問題の解決に向けて 日本が直面している問題 竹島問題の経緯と取り組み 北方領土問題の経緯と取り組み	● 竹島、北方領土、尖閣諸島をめぐる問題の解決に向けた取り組みについて理解する。 ● 日本の領土をめぐる問題の現状を理解し、日本の外交上の課題について考察する。	● 竹島、北方領土、尖閣諸島をめぐる問題の起こった経緯や現状を本文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 地理や歴史での学習をふまえて、領土問題の解決策について考察し、表現している。(思判表)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	尖閣諸島への対応		
	3 国際連合の仕組みと役割 平和の実現のための国際連合 国際連合の仕組み 国際連合の役割	● 国際連合の仕組みや活動について、総会、安全保障理事会、UNESCO、UNICEFなどの具体的な活動を通して理解する。 ● 国際連合の役割と抱えている課題について、様々な資料を基に考え、話し合う。	● 国際連合の目的と、その目的を実現するための組織や活動について、調べる活動を通して理解している。(知技) ● 国際連合の活動に対する日本の役割について、国連の役割に着目して考察し、表現している。(思判表)
	4 地域主義の動き グローバル化と地域主義 世界の地域主義の動き 地域主義の課題	● 地域主義の動きについて、EU や TPP などの具体的な事例を通して理解する。 世界の様々な地域主義の動きが強くなってきている理由について考察する。	● EU を例に地域主義の中で進んでいる結びつきの内容について文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 地域主義で国際協力の体制が作られることの利点と課題について考察し、表現している。(思判表)
	5 新興国の台頭と経済格差 南北間の経済格差 新興国の台頭と南南問題 自立した経済発展を目指して	● 新興国の台頭などの国際関係の変化について、理解する。 ● 世界の国々の間に経済格差が生まれる理由について考察する。	● 南北問題と南南問題について理解している。(知技) ● 発展途上国に求められる援助について持続可能性の観点から考察している。(思判表)
	1 地球環境問題 危機的な地球環境 地球温暖化と気候変動 国際社会の取り組み 地球環境問題の解決に向けて	● 地球にはどのような環境問題があるか理解する。 ● 様々な地球環境問題の解決のための国際協力について、協調に着目して考察する。	● 地球温暖化が起こっている理由について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 地球環境問題の解決のために重要なことを、協調の観点から考察し、表現している。(思判表)
	2 資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮 限りある資源 日本のエネルギー消費の状況 これからの日本のエネルギー	● 世界のエネルギーにどのような課題があるか理解する。 ● 日本のエネルギーの供給・消費の現状について理解し、これからの日本のエネルギーの在り方について考える。	● 化石燃料をエネルギーの中心として使うことの問題点について理解している。(知技) ● 世界のエネルギー問題の解決に向けて、日本が果たすべき役割について持続可能性の観点から考察し、表現している。(思判表)
	3 貧困問題 公正な世界を創る 人口の急増と貧困 世界の貧困問題 途上国の人々の自立に向けて	● 人口増加や食料供給の偏りなど様々な要因が重なり合って貧困問題が発生していることについて理解し、その解決策を考える。 ● 貧困問題の解決に向けてどのような取り組みが必要か考察する。	● 貧困が起こる理由について、文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 貧困や飢餓の問題を解決するために、自分にできることを効率と公正の観点から考察し、表現している。(思判表)

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	4 新しい戦争 平和な世界に向けて 地域紛争 テロリズム 戦争のない世界を目指す取り組み	● 地域紛争やテロリズムが起きていることを理解し、その背景について考える。 ● 戦争のない世界を実現するためにどのような取り組みが必要か、協調の観点から考察する。	● 地域紛争を、「新しい戦争」と呼ぶ理由について、これまでの戦争との違いから理解している。(知技) ● 戦争のない世界を実現するために必要な取り組みを協調の観点から考察し、構想している。(思判表)
	5 難民問題 二度の世界大戦と難民 難民を生みだすさまざまな要因、難民問題の解決に向けて	● 難民問題とはどのようなものか理解する。 ● 難民問題の解決に向けて必要なことを考察し、表現する。	● 難民とはどのような人々のことを指すか、理解している。(知技) ● 難民問題の解決に必要な取り組みについて、協調や持続可能の観点から考察している。(思判表)
	1 世界と協力する日本 日本の平和主義と国際貢献 日本の外交政策	● 日本の国際貢献について、途上国の開発や国際協力の面から理解している。 ● これからの国際社会で日本が果たすべき役割について考察する。	● 日本の国際貢献について、本文や資料の読み取りを通して途上国の開発や国際協力の面から理解している。(知技) ● これからの国際社会で日本が果たすべき役割について考察し、表現している。(思判表)
	2 より良い地球社会を目指して 地球社会の多様性 多様性の尊重 持続可能な社会のために	● 世界の文化の多様性について理解する。 ● 持続可能な社会を創り、地球上の全ての人がより良い生活を送るために必要なことを考察、構想し、表現する。	● 多様性を尊重しないことで起こっている課題について文や資料の読み取りを通して理解している。(知技) ● 世界平和の実現のために自分にできることを持続可能性の観点から考察、構想している。(思判表)
	1 持続可能な社会の形成者として	● 持続可能な社会を実現するためには、様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解する。 ● 地理的分野、歴史的分野、公民的分野の3年間の社会科学学習を振り返り、持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の考察に、取り組もうとする。	● 持続可能な社会を実現するためには、様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解している。(知技) ● 持続可能な社会の形成者として解決すべき課題の考察に、学習の見通しを持って取り組もうとしている。(態度)
	2 持続可能な社会を実現するために	● 持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題にはどのようなものがあるか確認し、理解する。	[探究課題の設定] ● 環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などに関わる課題を解決することが、持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。(知技)